

教育研究評議会（第15回）議事要旨

日 時 平成25年12月11日（水） 10:32～12:30
場 所 第一会議室

出席者 村松学長，大竹理事，藤井理事，勝山理事，加藤副学長，野口副学長，國分学系長，高田学系長，松川学系長，増田学系長，岸研究科長，伊藤評議員，新藤評議員，赤司評議員，高橋評議員，國仙評議員，山田評議員，繁田評議員，中島評議員，新田評議員，山崎評議員

以上21名

陪席者 荻上監事，堀口監事

I 議 題

1 組織再編について

藤井理事から，配付資料に基づき説明があり，意見交換を行い，以下のとおり確認し，審議の結果，承認した。

- ・ 本案は，「学部組織再編について」（平成24年3月28日教育研究評議会承認）を修正するものである。
- ・ 5（1）において「英語」，「社会」の文言をそれぞれ「英語科」，「社会科」に修正する。
- ・ 学部教員数削減の問題と教職大学院の教員数増員の問題とは，別の問題と捉えている。教職大学院の教員数を増やすことを目的とした学部教員の削減はしない，新規採用をもって教員増を行うという考えである。

2 東京学芸大学高大接続による教員養成プログラム（案）について

大竹理事から，配付資料に基づき説明があり，意見交換を行い，以下のとおり確認し，審議の結果，「東京学芸大学高大接続による教員養成プログラム（案）」の大枠及び「平成27年度高大接続プログラム特別入試学生募集案内（案）」について承認した。

- ・ 本議事では，資料2-1および資料2-2の両案について審議する。
- ・ 資料2-2 3頁表中の総合教育課程（E類）に，生涯スポーツ専攻を補記する。また，同E類においては卒業取得単位を超えて履修しなければ教員免許を取得することができない。そのため，平成26年3月に行う学生・保護者を対象とした説明会等においては，その旨を丁寧に説明する必要があると思われる。
- ・ 資料2-1「4. 試行期間」の2行目括弧書きは削除する方針で検討する。
- ・ 資料2-1「7. 出願資格」に「9. その他（4）大学入試センター試験を受験することを条件とする」旨を移し記す方針で検討する。なお，実際にセンター試験を受験出来なかった学生が出てしまった場合の取り扱いについて，併せて検討する必要がある。
- ・ 資料2-1「9. その他（1）」は，本プログラムに不合格となった学生でも，一般推薦入試に申請できることを意味する。解釈を誤らないよう，細かい文言を修正する方針で検討する。
- ・ 資料2-1については，上記3項の表現等，細かい修正を行うこととした上で，案の大枠を承認する。

- 3 学長のリーダーシップによる戦略的配置教員の選考要項の一部改正（案）について
藤井理事から、配付資料に基づき説明があり、意見交換を行い、以下のとおり確認し、審議の結果、承認した。
 - ・ 本案は、戦略的配置教員の移籍と再任の項目を追加するものである。
 - ・ 講座又は施設・センター教員として移籍する場合は、一般的な教員の移籍と同様の手続きとなるため、移籍先において再度選考いただくこととなる。
- 4 特任教員制度の一部改正（案）について
藤井理事から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
- 5 教員候補者選考委員会の開設について
総合教育科学系長、人文社会科学系長及び自然科学系長から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
- 6 特任教員の配置申請について
総合教育科学系長から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
- 7 大学院教育学研究科担当者選考委員会の開設について
人文社会科学系長から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
- 8 東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）の3つのポリシーについて
加藤副学長から、配付資料に基づき説明があり、意見交換を行い、以下のとおり確認し、審議の結果、承認した。
 - ・ カリキュラムポリシー 3.の1行目「芸術・体育等、」を「芸術・体育等の」に修正する。
 - ・ 修士課程をとりまく動向を考えれば、早晚アドミッションポリシーを作り替えていく必要が生じると思われる。その際には、現在表記している求める人材像に加え、入学者の選抜方針を併記するよう検討していきたい。
- 9 大学間交流協定更新について
藤井理事から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
- 10 平成25年度教育研究経費（保留分及び残額）の予算配分（案）について
予算専門委員会委員長から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。

II 報告事項

- 1 国際協力の実施方針について
藤井理事から、配付資料に基づき報告があった。
- 2 平成25年度第7回東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科委員会報告について
岸研究科長から、配付資料に基づき報告があった。
- 3 専門委員会報告
 - ・ 制度人事専門委員会
学長から諮問いただいた、名誉教授の推薦方法について制度上の変更を加えることにつ

いて検討を行った。12月18日の教授会で変更案について意見を募った後、12月25日の定例の専門委員会で審議し、1月の教育研究評議会で報告したいと考えている。

- ・ 入学者選抜専門委員会

学長から諮問いただいた、大学院教育学研究科の入試に関する2次募集が必要か否かについて検討を行い、今年度の2次募集は行わないこととした。ただし、来年度以降実施する場合、その旨の文言を募集要項に記載する必要があるため、事実上今年度中に決める必要がある。1月の教授会でたたき台を出したいと考えているが、それ以前に意見があれば伺いたいので、評議員の先生方には、その旨を12月18日の教授会で伝えていただきたい。

4 その他

- 新田評議員から、学長選考意向投票や学系長候補者選挙、教育研究評議会評議員選挙の結果の公示方法について、全数を公示するべきとの提案があり、学長から、選挙管理委員会で検討したい旨回答があった。

以上

配付資料

- 資料1 コース制・大学院に関する修正案
 - 資料2-1 東京学芸大学高大接続による教員養成プログラム（案）
 - 資料2-2 平成27年度高大接続プログラム特別入試学生募集案内（案）
 - 資料2-3 高大接続による教員養成プログラムセミナーについて
 - 資料3 学長のリーダーシップによる戦略的配置教員の選考要項の一部改正（案）について
 - 資料4-1 特任教員制度についての一部改正（案）について
 - 資料4-2 東京学芸大学特任教員選考要項の一部改正（案）について
 - 資料4-3 東京学芸大学教職大学院専任教員等選考要項の一部改正（案）について
 - 資料5 教員候補者選考委員会の開設について
 - 資料6 特任教員の配置申請について
 - 資料7 大学院教育学研究科担当者選考委員会の開設について
 - 資料8 東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）の3つのポリシーについて（案）
 - 資料9 大学間交流協定更新について
 - 資料10 平成25年度教育研究経費（保留分及び残額）の予算配分（案）について
 - 資料11 国際協力の実施方針
 - 資料12 平成25年度第7回東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科委員会議事日程
-
- 参考1 教育研究評議会（第14回）議事要旨